

北信越各県スポーツ少年団 本部長 殿

公益財団法人富山県体育協会
富山県スポーツ少年団
本部長 北 東 俊 夫

第38回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会北信越大会にかかる
付帯事項について（依頼）

標記大会にかかる「規則及び方法」「連絡事項」以外の付帯事項について、下記のとおり運営しますので、参加少年団へ周知くださいますようお願いいたします。

記

- 1 宿泊については、各参加団の方で、それぞれ手配等願います。
- 2 練習について、大会前日7月16日の午前9時～午後4時までに限り大会会場において可能です。前日に練習を希望される場合は、次のとおり申込みくださるようお願いいたします。
 - (1) 申込期限 平成28年7月8日（金）必着
 - (2) 申込先 公益財団法人富山県体育協会 富山県スポーツ少年団
〒939-8252 富山県富山市秋ヶ島183番地 富山県総合体育センター内
TEL 076-461-7138 FAX 076-461-7139
E-mail: toyamaken@japan-sports.or.jp
- 3 スコアラーについては、「規則及び方法」等に記載ありませんが、前年度長野県開催と同様に1名のベンチ入りを認めることとする。ただし、帽子と靴は選手と同じものを着用することとし、ユニフォームは未着用としてください。
- 4 熱中症対策スタッフ等のベンチ入りは不可とするが、保護者等による水分搬入はこの限りではないものとする。
- 5 怪我や事故等、防止対策には十分配慮ください。特に大会前日の練習では保健師等の配置はありませんので、各参加団の責任の下、練習くださるようお願いいたします。（大会試合中の障害については、開催要項のとおりとします。）

（事務担当）

公益財団法人富山県体育協会 富山県スポーツ少年団 山本
〒939-8252 富山市秋ヶ島183番地 富山県総合体育センター内
TEL 076-461-7138 FAX 076-461-7139
E-mail: toyamaken@japan-sports.or.jp

第38回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会北信越大会 連絡事項

1 指導者会議について

- (1) この会議には、各チームの代表指導者（監督）および代表団員（主将）が出席すること。
- (2) この会議に出席しないチームは、原則として大会を棄権したものとみなす。
- (3) この会議での説明および決定した事項は、チーム全員と応援関係者に必ず周知徹底させること。
- (4) 会議の主な内容
 - ① 参加申込書の記載事項の確認（参加申込書提出後の団員の追加及び変更は原則として認めない）
 - ② 代表指導者（監督）および引率指導者の交代の確認
 - ③ 大会競技規則等の確認
 - ④ 組み合わせ抽選
 - ⑤ その他大会の運営に係る必要事項の説明、確認

2 開会式・閉会式について

- (1) 参加チームは、開会式には必ず参加すること。閉会式には決勝に残ったチームは必ず参加すること。
- (2) 開会式及び閉会式における代表指導者（監督）、引率指導者、団員の服装は、競技時の服装とする。
- (3) 開会式時の入場行進は大会プラカード、都道府県プラカード、都道府県団旗、団員の順とし、団員は2列縦隊で行進する。なお、プラカードは主催者側で用意する。
- (4) 行進時において本部席前通過時の敬意の表し方は、敬意を損なわない限り自由とする。
- (5) 参加申込書に記載のある団員以外の団員（小学校4年生以上で、ユニホームを着用したものの）の参加を認める。ただし、試合中ダッグアウト（ベンチ）入りは認めない。
- (6) 代表団員（主将）宣誓は、開催県代表チームの代表団員（主将）が行う。各チームの旗手は、代表団員（主将）宣誓の時、宣誓者を中心に半円形に集まり、宣誓時に旗を斜め前方に倒し、宣誓終了後、元の位置に戻る。

3 抽選方法について

試合終了時に出場していた選手により、○印を記入した札を封筒に入れ、審判員立会いの上、球審が先攻チームより1枚ずつ交互に選ばせ、ライトの守備位置選手が引き終わったら、審判員2名が封筒を集め、開票し○印を記入した札を引いたチームの勝ちとする。

4 その他

大会の運営・進行については、大会本部の指示に従うこと。

第38回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会北信越大会開催要項

1 趣 旨

軟式野球を通じて、団員に競技を経験する機会を提供し、団員相互の交流を深め、仲間意識を高めるための研修の場とする。

2 主 催

公益財団法人日本体育協会 日本スポーツ少年団
公益財団法人富山県体育協会 富山県スポーツ少年団
公益財団法人新潟県体育協会 新潟県スポーツ少年団
公益財団法人石川県体育協会 石川県スポーツ少年団
公益財団法人福井県体育協会 福井県スポーツ少年団
公益財団法人長野県体育協会 長野県スポーツ少年団

3 共 催

富山県軟式野球連盟

4 後 援

富山県 新潟県教育委員会 石川県教育委員会 福井県教育委員会
長野県教育委員会

5 主 管

公益財団法人富山県体育協会 富山県スポーツ少年団

6 期 日

平成28年7月17日(日)・18日(月・祝)

7 会 場

富山県富山市南中田368番地
「富山県総合運動公園 多目的広場」TEL 076-429-8835

8 参加資格

- (1) 平成28年度の日本スポーツ少年団登録団員及び指導者とする。
- (2) スポーツ安全保険に加入している者であること。
- (3) 高円宮賜杯全日本学童軟式野球大会に参加申込みをしている単位団の出場は認めない。

9 チーム編成

- (1) 指導者は代表指導者1名、引率指導者1名とし、2名ともスポーツ少年団認定員または認定育成員の有資格者であること。
- (2) 団員は小学生4年生から6年生までの14名までをエントリーできる。
- (3) 指導者、団員とも同一単位団の所属であること。

10 参加チーム

8チーム（石川県・福井県は1チーム、長野県・新潟県・富山県は2チームとする。）

11 競技規則

2016年度「公認野球規則」および2016年度版全日本軟式野球連盟競技者必携「学童野球に関する事項」を適用する。ただし、別に示す「第38回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会北信越大会規則及び方法」を適用する。

12 使用球

公益財団法人全日本軟式野球連盟公認C号球を使用する。

13 参加申込

別紙申込書により各県とりまとめの上、平成28年7月5日（火）までに次へ申し込むこと。

〒939-8252 富山県富山市秋ヶ島183番地 富山県総合体育センター内

公益財団法人富山県体育協会 富山県スポーツ少年団

TEL 076-461-7138 FAX 076-461-7139

E-mail: toyamaken@japan-sports.or.jp

14 日程

○第1日目（7月17日）	8:00～8:30	受付
	8:30～9:15	指導者会議 <u>（組合せ抽選会）</u>
	9:30～10:00	開会式
	10:30～12:00	第1試合（1回戦 2試合）
	12:30～14:00	第2試合（1回戦 2試合）
	15:30～17:00	第3試合（準決勝 2試合）
○第2日目（7月18日）	9:30～11:00	決勝戦
	11:30～12:00	閉会式

15 全国交流大会

優勝チームは、8月5日（金）～8日（月）に滋賀県で開催される全国スポーツ少年団軟式野球交流大会に、北信越ブロック代表として出場できる。

16 その他

(1) チームの責任者は、参加団員の保護者から参加同意を得ておくこと。

(2) 大会運営に要する経費は主催者側負担とし、大会参加に要する経費は参加者の負担とする。

(3) 大会試合中の傷害は、応急処置まで主催者が行い、それ以降は参加者側で対応する。

(4) 組み合わせ抽選は、大会当日の指導者会議で行う。

(5) この大会は、雨天など天候等による順延・延期は行わない。その場合の運営等については、大会競技規則及び方法で規定する。

(6) 参加チームは、各県スポーツ少年団旗を持参すること。

(7) 審判は、富山県軟式野球連盟が行う。

第38回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会
北信越大会競技規則及び方法

1 大会特別競技規則

- (1) 本大会の試合は原則として7回戦および90分の試合制限時間を採用して行う。
(90分試合制限とは、90分を過ぎたら新しいイニングには入らないことを示す。)
- (2) (1)を原則とするが、7回を終了時または90分を経過して同点の場合は、2回までを限度に、次の『特別延長戦』を行う。

—特別延長戦—

継続打順とし、前回の最終打者を1塁走者とし、2塁、3塁の走者は順次前の打者とする。
すなわち、無死満塁の状態にして1イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。
なお、勝敗が決しない場合は、さらに継続打順でこれを繰り返すこととする。

- (3) 特別延長戦を行っても勝敗が決しない場合は、抽選によって勝敗を決定する。
- (4) 抽選方法は、全日本軟式野球連盟『学童野球に関する事項』による。
- (5) 得点差のゴールドゲームは採用しない。
- (6) 投手は、変化球を投げることを禁止する。投げた場合はペナルティを課す。
ペナルティは、全日本軟式野球連盟『学童野球に関する事項』による。
- (7) 参加団員に対し、全員が各試合に出場できる機会を与えることが望ましい。
- (8) 抗議は代表指導者(監督)または当事者が行う。
- (9) 本規定に定められていない事項が生じた場合は、審判員協議の上、大会審判長の権限により処理する。
- (10) 投手の投球制限
- ① 健康維持を考慮し、1日7イニングまでとする。
(ダブルヘッダーの場合は、前の試合4回まで登板した場合、次の試合は3回まで)
- ② 投球イニングに端数が生じたときの取扱いについては、3分の1回(アウト1つ)未満の場合であっても、1イニング投球したものとして数える。

2 危険防止のため次の用具を使用する。

- (1) 打者、次打者、走者及び走塁指導者は両側にイヤーフラップのついた打者用ヘルメットを着用する。
- (2) 捕手はマスクが分離した捕手用ヘルメットを着用すること。また、プロテクター、レガース、ファウルカップを必ず着用すること。
- (3) 上記の各用具及びバットは、全日本軟式野球連盟公認(JSBBマーク入り)の物を使用すること。
- (4) 素振り用の鉄棒(鉄パイプを含む)、バットリングは使用してはならない。
- (5) 金属スパイクの使用を禁止する。

3 競技運営に関し、次のことを規定する。

- (1) 競技者の背番号は、算用数字で0番から26番までとし、代表団員(主将)は10番に統一する。なお、必ず団員章を着用する。

- (2) 試合中のダッグアウト（ベンチ）の中に入れる人員は次のとおりとする。
参加申込書に記載された代表指導者（監督）、引率指導者、団員 14 名の計 16 名とする。
ただし、このほかに、指導者 2 名（登録指導者で参加申込書に記入された者）までは、ベンチに入ることができるが、試合中の交代は認めない。
- (3) 代表指導者（監督）の背番号は 30 番に統一する。なお、指導者としてベンチ入りする場合、背番号は 28 番と 29 番とし、代表指導者、引率指導者、指導者は指導者章と所定のリボンを着用すること。
- (4) ダッグアウトの中で携帯用マイク及び携帯電話の使用を禁止する。また、ダッグアウトの中でメガホン 1 個の使用を認める。
- (5) ダッグアウトは、組み合わせ番号の若い方を 1 塁側とする。
- (6) 試合前のフィールディング練習は 5 分間とする。（ノッカーも必ずユニホームを着用すること。）なお、大会運営の関係で時間を短縮したり、フィールディング練習なしで試合することもある。
- (7) 球場内でのフリーバッティングは認めない。トスバッティングは相手チームのフィールディング練習中に限り、外野のファウルグラウンドで行うことができる。
- (8) 第 1 試合のチームは、試合開始予定時刻 30 分前、第 2 試合以降は、前の試合開始 1 時間後、または、5 回終了時に本部へメンバー表 5 部（必ずふりがなを付けること）を提出して登録メンバーの照合を受けること。なお、その際、代表団員（主将）によって攻守の決定を行う。
- (9) 試合開始予定時刻前でも、前の試合が早く終了した場合、次の試合開始を早める場合がある。
- (10) 試合開始時刻になっても会場に来ていないチームは、原則として棄権とみなす。
- (11) 試合中、代表指導者（監督）はグラウンドに入って指示を与えることができる。
- (12) 攻守交代は駆け足で行うこと。
- (13) ファウルボールの処理については 1 塁側に止まったものは 1 塁側チームが、3 塁側に止まったものは 3 塁側のチームが拾う。捕手の後方に止まったものは、攻撃側のチームが拾う。
なお、拾ったボールはボールボーイに渡して、それを球審に渡す。
- (14) 雨天など悪天候等の場合の運営等について
- ① 小雨等の場合、日程の都合上、球場が使用可能な状態の場合は試合を行うことがある。
 - ② 天候等により、1 日目が中止の場合は、2 日目に 1 日目の試合を行い、残りを抽選で決定する。1・2 日目とも試合が出来なかった場合は、全試合を抽選で決定する。
なお、抽選方法については、大会連絡事項に定める。
 - ③ 当日試合を全く行わない場合と、状況をみながら可能な時間から試合を行う場合等があるので、大会の運営・進行については、大会本部の指示に従うこと。
 - ④ 当日の試合実施の可否に係る問い合わせは、午前 7 時以降に、次の電話で対応する。
富山県スポーツ少年団 090-7080-9150（大会期間中のみ）
- (15) チーム並びに応援団は、連盟の競技者規程に触れる事のないように注意すること。
特に、投手が投球モーションに入ったら、応援を止めなければならない。
また、好ましくない応援や野次（鳴り物は禁止）に対しては、審判員がそのチームに対し注意をする。